

景況感は、製造業は悪化に転じ、非製造業は悪化幅縮小
先行きは、製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大

目次

	ページ
調査要領	1
1. 概況	2
2. 業況判断	製造業は悪化に転じ、非製造業は悪化幅縮小 3
3. 売上	製造業、非製造業ともに悪化に転じる 3
4. 受注	製造業は減少に転じ、建設業は減少幅拡大 4
5. 経常利益	製造業は減少幅拡大、非製造業は減少幅縮小 4
6. 在庫	製品在庫、商品在庫ともに過剰感減少、 原材料在庫は過剰感増加 4
7. 販売価格・仕入価格	販売価格は低下幅拡大、仕入価格は上昇幅縮小 5
8. 資金繰り・借入金残高	資金繰りで製造業、非製造業ともに悪化 5
9. 雇用	製造業は過剰感増加、非製造業は不足感増加 6
10. 設備投資	製造業は前年比増、非製造業は前年比減補修、更新が主 6
11. 経営上の問題点	製造業では「売上・受注の減少」、「販売価格の低下」が 上位、非製造業では「売上・受注の減少」、「先行き見通 し難」が上位 7
12. 相談ジャーナル	11

○調査要領

- 調査目的 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため
 調査対象 県内企業226社、回答企業103社、回答率45.6%
 調査方法 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答
 調査対象期間 平成24年1～3月実績及び平成24年4～6月予想
 調査時点 平成24年5月下旬～6月中旬

○業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製 造 業	食料品	10	9.7	9	90.0
	繊維・縫製	2	1.9	2	100.0
	木材・木製品	1	1.0	1	100.0
	紙・紙加工品	5	4.9	5	100.0
	窯業・土石	6	5.8	6	100.0
	金属・機械	12	11.7	12	100.0
	電気機械	10	9.7	10	100.0
	印刷・その他	6	5.8	5	83.3
計		52	50.5	50	96.2
非 製 造 業	建設業	9	8.7	8	88.9
	卸売業	18	17.5	16	88.9
	小売業	12	11.7	2	16.7
	運輸業	6	5.8	4	66.7
	旅館・ホテル	6	5.8	3	50.0
計		51	49.5	33	64.7
全部門合計		103	100.0	83	80.6

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業…資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
 卸売業……………資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
 小売業……………資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
 サービス業……………資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

— B S I とは —

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。B S I がプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1 概況……県内景況感は、製造業は悪化に転じ、非製造業は悪化幅縮小 先行きの景況感は、製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大

鳥取県企業動向調査によると、平成24年1～3月の「自社業況の総合判断」は、前期(平成23年10～12月)に比べて製造業では、電気機械、紙・紙加工品などで悪化幅が拡大したことから、9.5ポイント低下。非製造業では、建設業で好転幅拡大し、小売業で好転することから、4.5ポイント上昇。全産業では▲5.5と前期(▲2.5)より3.0ポイント悪化幅が拡大。また、前回調査時(2月)の予想(▲8.5)よりも3.0ポイント上昇。

先行き平成24年4～6月の景況感は、製造業では、金属製品、食料品で好転幅が拡大することなどから1.5ポイント上昇。非製造業では、建設業、小売業などで悪化に転じることなどから6.0ポイント低下。全産業では▲7.5と2.0ポイント低下し、悪化幅が拡大する見込み。

1.業種別の景況(詳細はP.3上段をご覧ください)

製造業の景況感は、前期比9.5ポイント低下し、2四半期ぶりで悪化した。(+1.0→▲8.5)

非製造業の景況感は、前期比4.5ポイント上昇し、悪化幅が縮小したが、60四半期連続の悪化となった。(▲6.5→▲2.0)

2.売上高の景況(詳細はP.3下段をご覧ください)

売上高のBSIは、製造業では、前期比10.5ポイント低下。非製造業では、前期比7.5ポイント低下。全産業では、前期

比8.5ポイント低下した。(+5.0→▲3.5)

3.受注高の景況(詳細はP.4上段をご覧ください)

受注高のBSIは、製造業では、前期比16.0ポイント低下。非製造業では、前期と同水準。全産業では、前期比13.0ポイント低下した。(+9.0→▲4.0)

4.経常利益の景況(詳細はP.5上段をご覧ください)

経常利益のBSIは、製造業では、前期比10.5ポイント低下。非製造業では、前期比2.5ポイント上昇。全産業では、前期比4.0ポイント低下した。(▲6.0→▲10.0)

5.販売価格、仕入価格の景況(詳細はP.5上段をご覧ください)

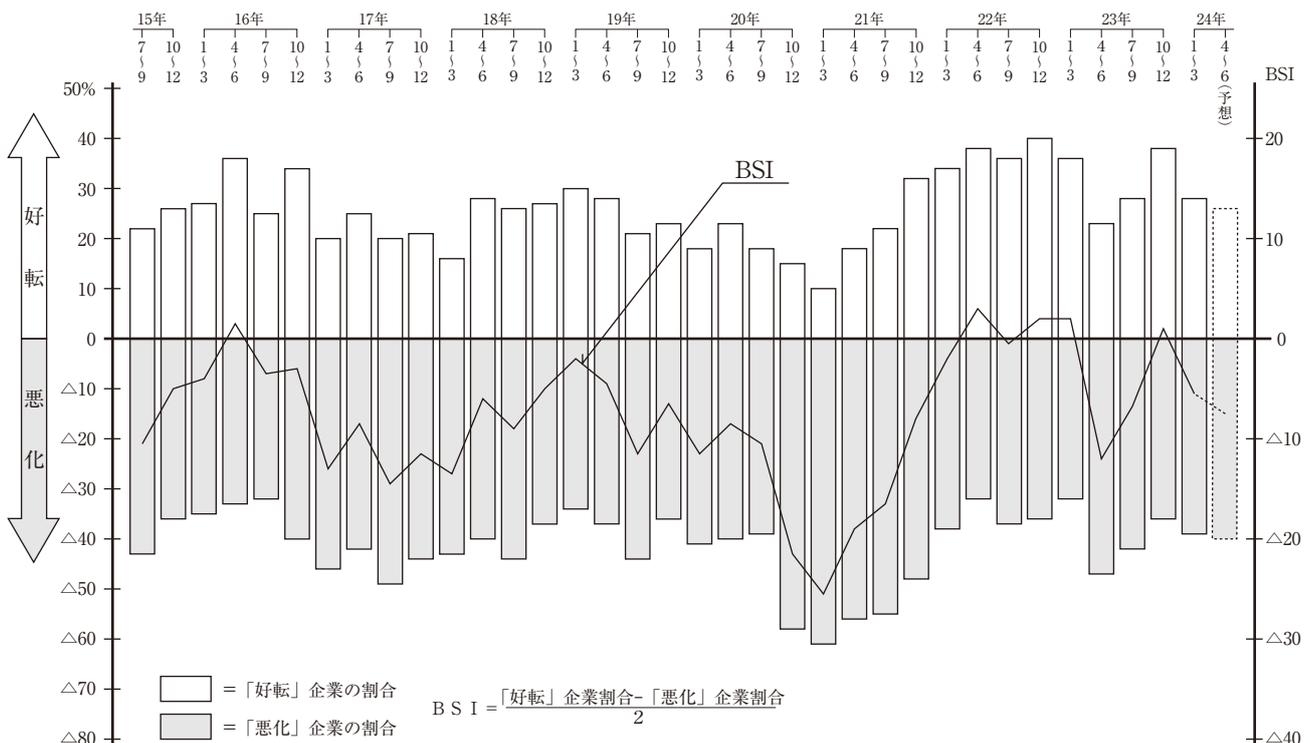
販売価格のBSIは、製造業では、前期比6.0ポイント低下。非製造業では、前期比1.0ポイント低下。全産業では、前期比3.5ポイント低下した。(▲7.5→▲11.0)

仕入価格のBSIは、製造業では、前期比2.0ポイント低下。非製造業では、前期比2.0ポイント上昇。全産業では、前期比0.5ポイント低下した。(+15.0→+14.5)

6.経営上の問題点(詳細はP.7下段をご覧ください)

経営上の問題点(大きいものから2項目選択)についての上位項目(全産業)は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の55.3%と最も多く、次いで「過当競争」が30.1%、「仕入価格の上昇」が24.3%、「先行き見通し難」が23.3%、「販売価格の低下」が22.3%となった。

図－1 自社業況の総合判断の推移



2 業況判断……2 製造業は悪化に転じ、非製造業は悪化幅縮小

「自社業況の総合判断」BSI※「(好転の割合-悪化の割合)÷2」

24年1～3月は、前回調査比▲3.0(▲2.5→▲5.5)
 前回(2月)調査の先行き予想比+3.0(▲8.5→▲5.5)
 24年4～6月の見込みは、▲2.0(▲5.5→▲7.5)
 24年7～9月の見込みは+0.5(▲7.5→▲7.0)

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて、経営者の判断を示すもの

製造業のBSI

24年1～3月は、前回調査比▲9.5(+1.0→▲8.5)
 上昇した業種：食料品、一般機械など
 低下した業種：金属製品、木材・木製品・家具など
 24年4～6月の見込みは、+1.5(▲8.5→▲7.0)
 上昇見込み：食料品、一般機械など
 低下見込み：木材・木製品・家具、窯業・土石など

24年7～9月の見込みは、+1.0(▲7.0→▲6.0)

上昇見込み：木材・木製品・家具、窯業・土石など
 低下見込み：一般機械、出版・印刷など

非製造業のBSI

24年1～3月は、前回調査比+4.5(▲6.5→▲2.0)

上昇した業種：小売業、建設業など
 低下した業種：旅館・ホテル、卸売業

24年4～6月の見込みは、▲6.0(▲2.0→▲8.0)

上昇見込み：卸売業、運輸業
 低下見込み：小売業、旅館・ホテルなど

24年7～9月の見込みは、±0.0(▲8.0→▲8.0)

上昇見込み：旅館・ホテル、小売業
 低下見込み：卸売業、運輸業

図-2 業況総合判断 (製造業)

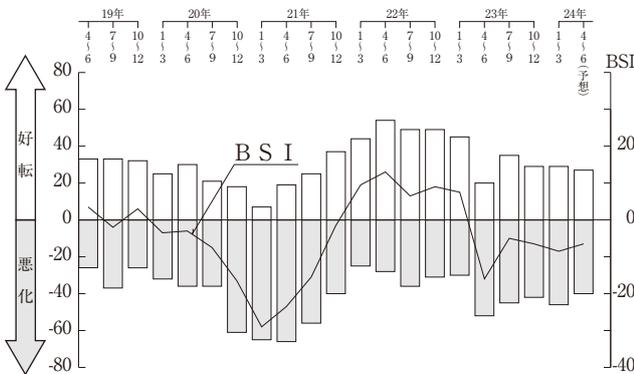
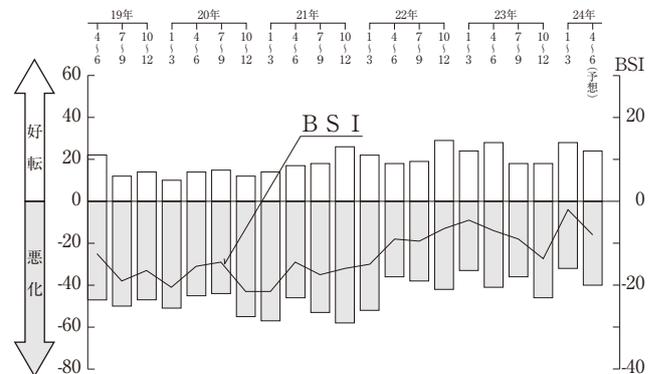


図-3 業況総合判断 (非製造業)



3 売上……3 製造業、非製造業ともに悪化に転じる

製造業の売上高BSI

24年1～3月は、前回調査比 ▲10.5(+6.5→▲4.0)
 上昇した業種：窯業・土石、一般機械など
 低下した業種：食料品、紙・紙加工品など
 24年4～6月の見込みは、▲3.0(▲4.0→▲7.0)
 上昇見込み：一般機械、紙・紙加工品など
 低下見込み：縫製・繊維、窯業・土石など

非製造業の売上高BSI

24年1～3月は、前回調査比▲7.5(+4.0→▲3.5)
 上昇した業種：建設業
 低下した業種：運輸業、旅館・ホテルなど
 24年4～6月の見込みは、▲2.0(▲3.5→▲5.5)
 上昇見込み：運輸業
 低下見込み：旅館・ホテル、建設業など

売上高にかかる回答の集計(回答企業の加重平均) 全産業(回答56社)

24年1～3月実績：前年同期比▲8.4%
 24年4～6月予想：同▲7.3%

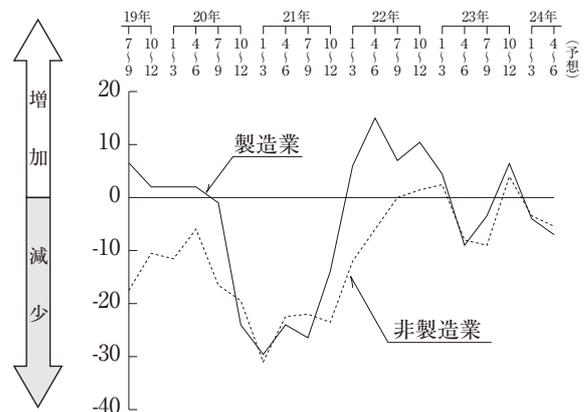
製造業(32社)

24年1～3月は、前年同期比▲8.5%
 上昇した業種：一般機械、窯業・土石など
 低下した業種：電気機械、紙・紙加工品など
 24年4～6月は、前年同期比▲11.8%
 上昇した業種：一般機械、食料品など
 低下した業種：電気機械、縫製・繊維など

非製造業(24社)

24年1～3月は、前年同期比▲8.3%
 上昇した業種：建設業
 低下した業種：卸売業、運輸業など
 24年4～6月は、前年同期比▲1.9%
 上昇した業種：運輸業
 低下した業種：建設業、旅館・ホテルなど

図-4 売上高のBSI



4 受注……製造業は減少に転じ、建設業は減少幅拡大

製造業の受注高BSI

24年1～3月は、前回調査比▲16.0(+11.0→▲5.0)

上昇した業種：一般機械、出版・印刷など

低下した業種：金属製品、紙・紙加工品など

24年4～6月の見込みは、▲1.0(▲5.0→▲6.0)

上昇見込み：一般機械、電気機械など

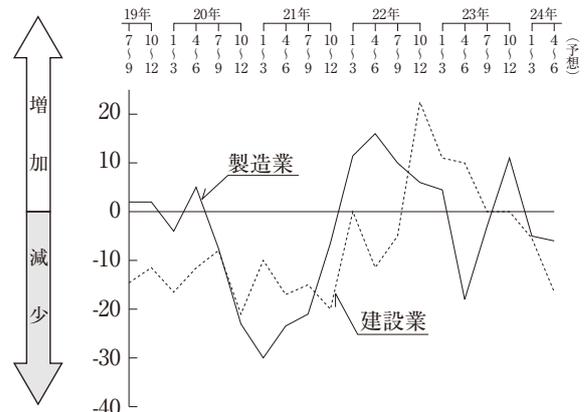
低下見込み：出版・印刷、窯業・土石など

建設業の受注高BSI

24年1～3月は、前回調査比▲5.5(±0.0→▲5.5)

24年4～6月の見込みは、▲11.0(▲5.5→▲16.5)

図-5 受注額のBSI



5 経常利益……製造業は減少幅拡大、非製造業は減少幅縮小

製造業の経常利益BSI

24年1～3月は、前回調査比▲10.5(▲3.0→▲13.5)

上昇した業種：木材・木製品、一般機械など

低下した業種：金属製品、出版・印刷など

24年4～6月の見込みは、▲2.0(▲13.5→▲15.5)

上昇見込み：一般機械、出版・印刷など

低下見込み：木材・木製品・家具、窯業・土石など

非製造業の経常利益BSI

24年1～3月は、前回調査比+2.5(▲8.5→▲6.0)

上昇した業種：運輸業

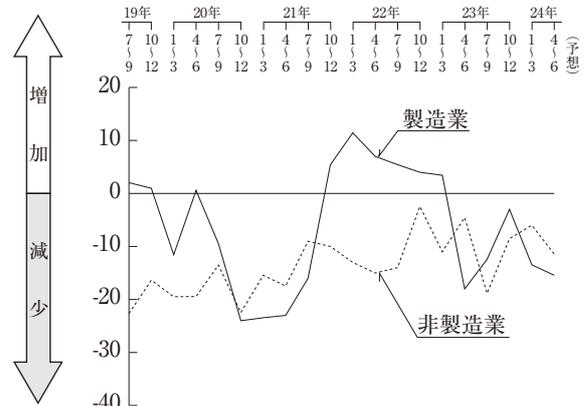
低下した業種：旅館・ホテル、小売業など

24年4～6月の見込みは、▲5.0(▲6.0→▲11.0)

上昇見込み：卸売業

低下見込み：旅館・ホテル、建設業など

図-6 経常利益のBSI



6 在庫……製品在庫、商品在庫ともに過剰感減少、原材料在庫は過剰感増加

製品在庫BSI [(不足-過剰)÷2]

24年1～3月は前回調査比+15(▲45→▲30)過剰感減少

過剰感が増加した業種：電気機械

過剰感が減少した業種：木材・木製品・家具

不足感が増加した業種：食料品

不足感が減少した業種：金属機械

24年4～6月の見込みは+2.0(▲3.0→▲1.0)過剰感減少

過剰感増加見込み：一般機械

不足感減少見込み：食料品

商品在庫BSI

24年1～3月は前回調査比+35(▲115→▲80)過剰感減少

過剰感が増加した業種：小売業

過剰感が減少した業種：卸売業

24年4～6月の見込みは+2.0(▲8.0→▲6.0)過剰感減少

過剰感減少見込み：卸売業

製造業の原材料在庫BSI

24年1～3月は前回調査比▲60(+10→▲50)過剰感増加

過剰感が増加した業種：電気機械、木材・木製品・家具

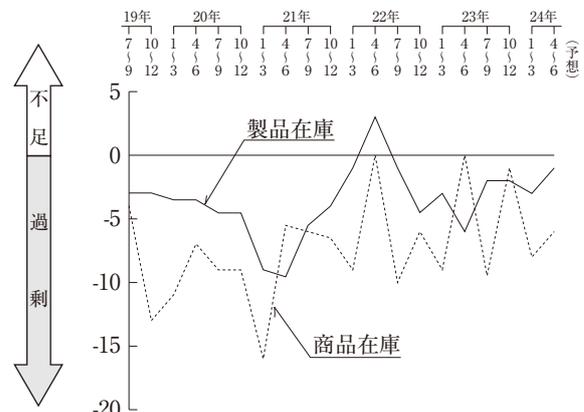
不足感が減少した業種：金属機械、窯業・土石

24年4～6月の見込みは+3.0(▲5.0→▲2.0)過剰感減少

過剰感増加見込み：一般機械

過剰感減少見込み：電気機械、木材・木製品・家具

図-7 製品・商品在庫のBSI



7 販売価格・仕入価格……販売価格は低下幅拡大、仕入価格は上昇幅縮小

販売価格BSI「(上昇-低下)÷2」

24年1～3月は、前回調査比▲3.5(▲7.5→▲11.0)
24年4～6月の見込みは、▲0.5(▲11.0→▲10.5)

製造業の販売価格BSI

24年1～3月は、前回調査比▲6.0(▲9.5→▲15.5)
上昇した業種：窯業・土石、一般機械など
低下した業種：食料品、木材・木製品・家具など
24年4～6月の見込みは、+1.0(▲15.5→▲14.5)
上昇見込み：食料品、出版・印刷など
低下見込み：電気機械、金属製品など

非製造業の販売価格BSI

24年1～3月は、前回調査比▲1.0(▲5.0→▲6.0)
上昇した業種：小売業
低下した業種：建設業、旅館・ホテル
24年4～6月の見込みは、±0.0(▲6.0→▲6.0)
上昇見込み：建設業
低下見込み：小売業

原材料仕入価格BSI「(上昇-低下)÷2」

24年1～3月は、前回調査比▲0.5(+15.0→+14.5)
24年4～6月の見込みは、▲5.0(+14.5→+9.5)

製造業の原材料仕入価格BSI

24年1～3月は、前回調査比▲2.0(+17.5→+15.5)
上昇した業種：食料品、窯業・土石など
低下した業種：電気機械、金属製品など
24年4～6月の見込みは、▲4.5(+15.5→+11.0)
上昇見込み：なし
低下見込み：食料品、金属製品など

非製造業の原材料仕入価格BSI

24年1～3月は、前回調査比+2.0(+12.0→+14.0)
上昇した業種：建設業、運輸業など
低下した業種：旅館・ホテル、卸売業
24年4～6月の見込みは、▲6.0(+14.0→+8.0)
上昇見込み：なし
低下見込み：建設業、運輸業など

図-8 販売価格のBSI

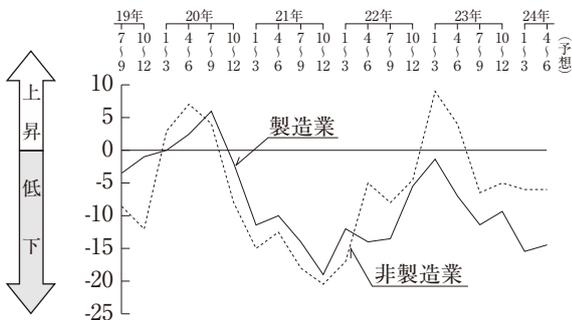
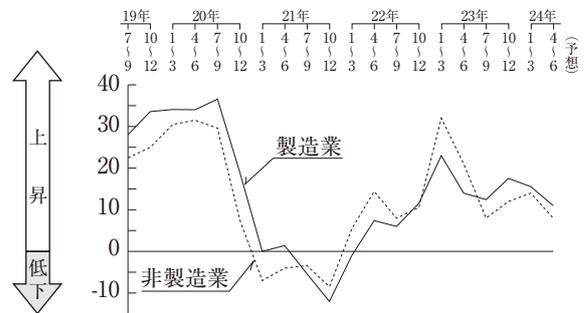


図-9 仕入価格のBSI



8 資金繰り・借入金残高……資金繰りで製造業、非製造業ともに悪化

資金繰りBSI「(楽-苦しい)÷2」

24年1～3月は、前回調査比▲0.5(+0.5→±0.0)
24年4～6月の見込みは、▲4.5(±0.0→▲4.5)

製造業の資金繰りBSI

24年1～3月は、前回調査比+2.0(▲1.0→+1.0)
楽になる業種：電気機械、金属製品など
苦しくなる業種：食料品、木材・木製品・家具
24年4～6月の見込みは、▲3.0(+1.0→▲2.0)
楽になる見込み：金属製品、出版・印刷
苦しくなる見込み：食料品、縫製・繊維など

非製造業の資金繰りBSI

24年1～3月は、前回調査比▲1.0(+2.0→+1.0)
楽になる業種：建設業、運輸業
苦しくなる業種：卸売業、旅館・ホテルなど
24年4～6月の見込みは、▲8.0(+1.0→▲7.0)
楽になる見込み：なし
苦しくなる見込み：旅館・ホテル、建設業など

借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」

24年1～3月は、前回調査比+1.0(+14.5→+15.5)
24年4～6月の見込みは、+2.5(+15.5→+18.0)

製造業の借入金残高BSI

24年1～3月は、前回調査比+2.5(+20.5→+23.0)
減少する業種：一般機械、紙・紙加工品など
増加する業種：出版・印刷、窯業・土石など
24年4～6月の見込みは、▲2.5(+23.5→+20.5)
減少する見込み：金属製品、出版・印刷
増加する見込み：紙・紙加工品、一般機械など

非製造業の借入金残高BSI

24年1～3月は、前回調査比±0.0(+8.0→+8.0)
減少する業種：小売業、運輸業
増加する業種：建設業、卸売業
24年4～6月の見込みは、+7.0(+8.0→+15.0)
減少する見込み：旅館・ホテル
増加する見込み：建設業、卸・小売業

図-10 資金繰りのBSI

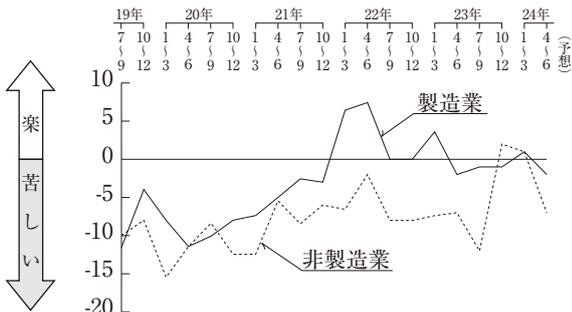
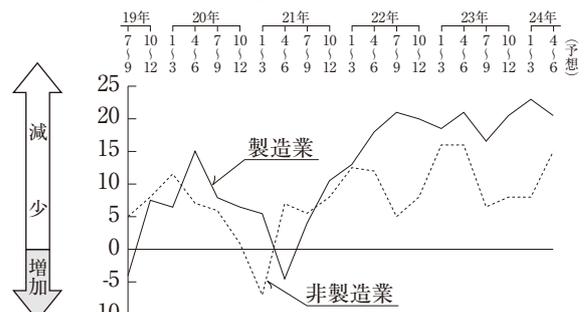


図-11 借入金残高のBSI



9 雇 用……製造業は過剰感増加、非製造業は不足感増加

製造業の常用雇用者BSI「(過剰-不足)÷2」

24年1～3月は前回調査比+5.5(+2.0→+7.5) 過剰感増加

過剰感が増加した業種：電気機械、金属製品など

過剰感が減少した業種：出版・印刷

不足感が増加した業種：一般機械

不足感が減少した業種：食料品

24年4～6月の見込みは▲1.0(+7.5→+6.5) 過剰感減少

過剰感増加の見込み：金属製品、紙・紙加工品など

過剰感減少の見込み：縫製・繊維

不足感増加の見込み：食料品

不足感減少の見込み：出版・印刷

非製造業の常用雇用者BSI

24年1～3月は前回調査比▲2.0(▲1.0→▲3.0) 不足感増加

過剰感が増加した業種：なし

過剰感が減少した業種：建設業、卸売業

不足感が増加した業種：運送業

不足感が減少した業種：小売業、旅館・ホテル

24年4～6月の見込みは+4.0(▲3.0→+1.0) 不足感減少

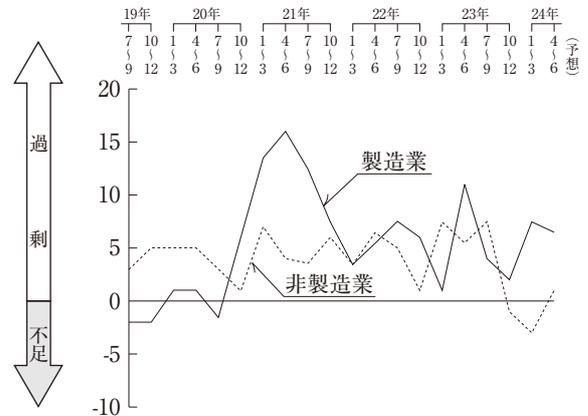
過剰感増加の見込み：卸売業

過剰感減少の見込み：なし

不足感増加の見込み：旅館・ホテル

不足感減少の見込み：建設業

図-12 雇用(常用雇用者)のBSI



10 設備投資……製造業は前年比減、非製造業は前年比増、補修・更新が主

24年1～3月：回答企業の32%が設備投資を実施し前年同期実績(32%)と同水準。

24年4～6月：回答企業の39%が設備投資を計画し前年同期実績(41%)よりも2ポイント下回る見込み。

業種別設備投資企業割合

()内は前年同期実績:単位%

	23年10～12月 実 績	24年1～3月 実 績	24年4～6月 計 画
全 産 業	32 (39)	32 (32)	39 (41)
食 料 品	29 (57)	60 (40)	60 (67)
織 維 ・ 縫 製	0 (0)	0 (0)	0 (0)
木 材 ・ 木 製 品	0 (50)	0 (33)	100 (33)
紙 ・ 紙 加 工 品	33 (50)	20 (0)	40 (67)
窯 業 ・ 土 石	17 (0)	17 (0)	0 (0)
金 属 ・ 機 械	58 (69)	67 (47)	67 (38)
電 気 機 械	36 (73)	40 (64)	50 (67)
印 刷 ・ そ の 他	29 (25)	0 (0)	0 (40)
製 造 業	35 (53)	38 (36)	42 (46)
建 設 業	17 (13)	22 (0)	11 (25)
卸 売 業	20 (0)	0 (21)	0 (30)
小 売 業	44 (67)	0 (75)	100 (30)
運 輸 業	20 (25)	0 (20)	0 (40)
旅 館 ・ ホ テ ル	50 (20)	0 (25)	0 (50)
非 製 造 業	28 (20)	12 (28)	20 (33)

製 造 業	24年1～3月	実施割合 前年同期実績比 2ポイント増加(36%→38%) 上昇する業種:食料品、紙・紙加工品など 低下する業種:木材・木製品・家具、電気機械など
	投資目的	1 補修・更新 64% (前年同期 68%) 2 増産・能力向上 27% (同 26%) 3 合理化・省力化 18% (同 58%)
非 製 造 業	24年1～3月	実施割合 前年同期実績比 16ポイント減少(28%→12%) 上昇する業種:なし 低下する業種:卸・小売業、旅館・ホテルなど
	投資目的	1 補修・更新 77% (前年同期 82%) 2 販売力増強 23% (同 27%) 2 合理化・省力化 23% (同 18%)
製 造 業	24年4～6月	計画割合 前年同期実績比 4ポイント増加(42%→46%) 上昇する業種:木材・木製品・家具、金属・機械 低下する業種:印刷・その他、紙・紙加工品など
	投資目的	1 補修・更新 57% (前年同期 74%) 2 合理化・省力化 42% (同 17%) 3 増産・能力向上 13% (同 13%)
非 製 造 業	24年4～6月	計画割合 前年同期実績比 13ポイント減少(33%→20%) 上昇する業種:なし 低下する業種:卸・小売業、旅館・ホテルなど
	投資目的	1 補修・更新 71% (前年同期 100%) 2 販売力増強 21% (同 14%) 2 合理化・省力化 21% (同 0%)

注:投資目的は複数回答、構成比。建設業は製造業に含む。

図-13 設備投資実施企業の割合の推移

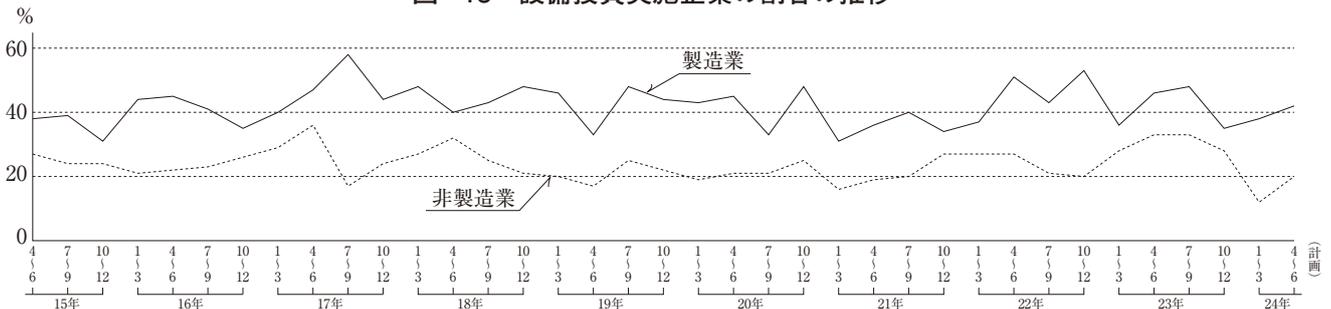
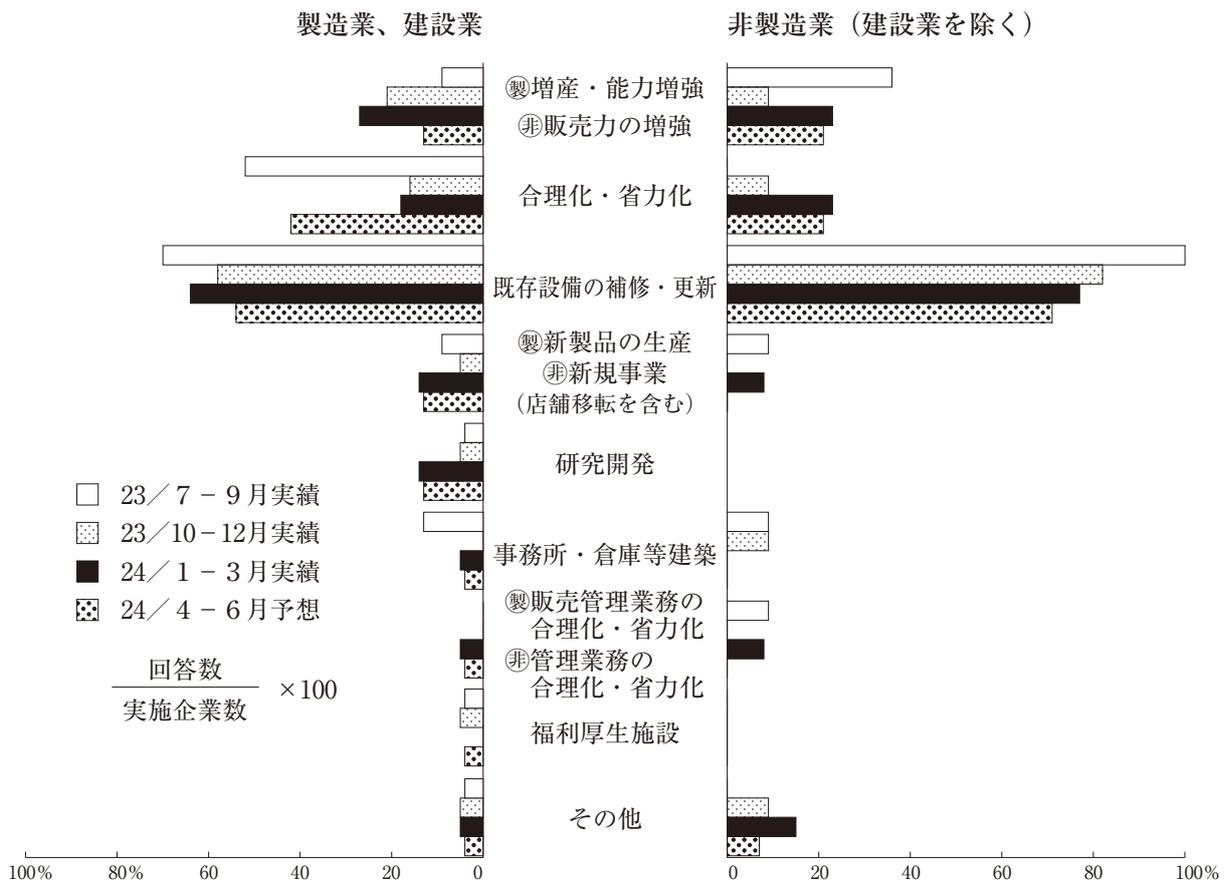


図-14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



11 経営上の問題点…… 製造業では「売上・受注の減少」、「販売価格の低下」が上位 非製造業では「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」が上位

平成24年1～3月：経営上の問題点（大きいものから2項目選択）の上位5項目（全産業）は10～12月と同様。

「売上・受注の減少」が2ポイント上昇し、製造業で17ポイント上昇し、非製造業で13ポイント低下した。

平成24年4～6月：上位5項目（全産業）は10～12月と同様。

「売上・受注の減少」が1ポイント低下し、製造業で10ポイント低下、非製造業で9ポイント上昇すると見込む。

（単位：%）

	問題点	24年		
		10～12月	1～3月	4～6月 予
全産業	1 売上・受注の減少	53	55	54
	2 過当競争	27	30	26
	3 仕入れ価格の上昇	20	24	18
	4 先行き見通し難	28	23	30
	5 販売価格の低下	19	22	22
製造業	1 売上・受注の減少	43	60	50
	2 販売価格の低下	22	29	27
	3 仕入れ価格の上昇	24	23	19
	3 過当競争	18	23	23
	5 先行き見通し難	27	19	31
非製造業	1 売上・受注の減少	63	50	59
	3 先行き見通し難	29	31	29
	2 販売価格の低下	15	27	18
	4 過当競争	35	23	29
	5 仕入れ価格の上昇	15	19	18

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

図-15 経営上の問題点（上位項目）

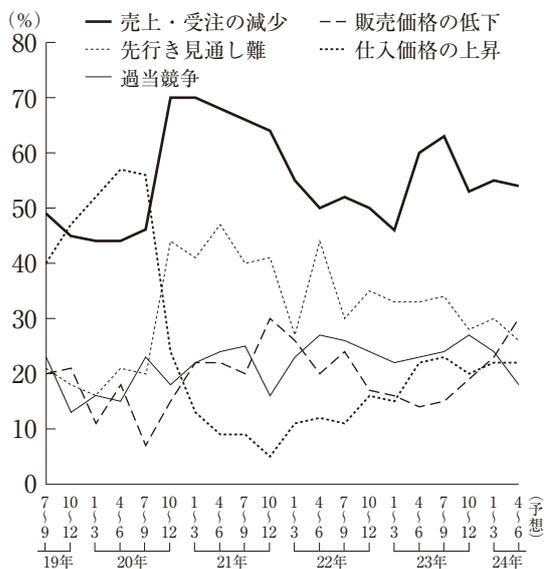


表-2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	23年10~12月実績				24年1~3月実績				24年4~6月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$
全産業		33	28	39	▲ 2.6	28	32	39	▲ 5.4	26	34	40	▲ 7.4
食料品		57	15	29	14.3	60	10	30	15.0	60	30	10	25.0
繊維・縫製		0	0	0	0.0	0	50	50	▲25.0	0	50	50	▲25.0
木材・木製品		50	50	0	25.0	0	100	0	0.0	0	0	100	▲50.0
紙・紙加工品		0	67	33	▲16.7	0	60	40	▲20.0	0	60	40	▲20.0
窯業・土石		0	50	50	▲25.0	17	33	50	▲16.7	0	33	67	▲33.4
金属・機械		64	27	9	27.3	50	17	33	8.4	50	25	25	12.5
電気機械		46	9	46	0.0	10	30	60	▲25.0	20	30	50	▲15.0
印刷・その他		13	25	63	▲25.0	17	0	83	▲33.3	0	33	67	▲33.4
製造業		38	27	35	1.1	29	25	46	▲ 8.7	27	33	40	▲ 6.8
建設業		25	50	25	0.0	44	33	22	11.1	44	11	44	0.0
卸売業		27	33	40	▲ 6.7	22	39	39	▲ 8.4	17	56	28	▲ 5.6
小売業		40	10	50	▲ 5.0	36	55	9	13.7	18	45	36	▲ 9.1
運輸業		0	40	60	▲30.0	17	33	50	▲16.7	33	33	33	0.0
旅館・ホテル		50	0	50	0.0	17	33	50	▲16.7	17	0	83	▲33.3
非製造業		29	29	42	▲ 6.3	28	40	32	▲ 2.0	24	36	40	▲ 8.0

表-3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	23年10~12月実績				24年1~3月実績				24年4~6月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$
全産業		44	23	34	5.0	35	23	42	▲ 3.7	28	31	41	▲ 6.4
食料品		75	0	25	25.0	33	22	44	▲ 5.6	33	33	33	0.0
繊維・縫製		0	0	0	0.0	50	50	0	25.0	0	50	50	▲25.0
木材・木製品		100	0	0	50.0	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
紙・紙加工品		0	0	0	0.0	0	60	40	▲20.0	20	40	40	▲10.0
窯業・土石		20	20	60	▲20.0	33	17	50	▲ 8.4	0	50	50	▲25.0
金属・機械		71	14	14	28.6	67	0	33	16.7	50	25	25	12.5
電気機械		44	11	44	0.0	20	30	50	▲15.0	30	20	50	▲10.0
印刷・その他		20	20	60	▲20.0	17	17	67	▲25.0	0	33	67	▲33.4
製造業		50	13	38	6.3	35	22	43	▲ 3.9	28	31	41	▲ 6.9
建設業		25	50	25	0.0	57	14	29	14.3	43	14	43	0.0
卸売業		43	21	36	3.6	33	22	44	▲ 5.6	22	45	33	▲ 5.6
小売業		57	14	29	14.3	27	45	27	0.0	27	27	46	▲ 9.1
運輸業		0	100	0	0.0	20	20	60	▲20.0	60	0	40	10.0
旅館・ホテル		50	0	50	0.0	33	0	67	▲16.7	0	33	67	▲33.4
非製造業		39	31	31	3.9	34	25	41	▲ 3.4	30	30	41	▲ 5.7

表-4 業種別 経常利益 B S I

業種	期 判断	23年10~12月実績				24年1~3月実績				24年4~6月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$
全 産 業		34	21	45	▲ 5.8	31	19	51	▲ 9.9	22	30	49	▲13.4
食 料 品		57	14	29	14.3	50	10	40	5.0	50	30	20	15.0
織 維 ・ 縫 製		0	0	0	0.0	0	0	100	▲50.0	0	0	100	▲50.0
木 材 ・ 木 製 品		50	50	0	25.0	100	0	0	50.0	0	100	0	0.0
紙 ・ 紙 加 工 品		0	67	33	▲16.7	0	40	60	▲30.0	0	40	60	▲30.0
窯 業 ・ 土 石		17	33	50	▲16.7	33	17	50	▲ 8.5	0	33	67	▲33.4
金 属 ・ 機 械		58	8	33	12.5	42	17	42	0.0	33	25	42	▲ 4.2
電 気 機 械		30	10	60	▲15.0	20	20	60	▲20.0	20	20	60	▲20.0
印 刷 ・ そ の 他		25	13	63	▲18.8	0	0	100	▲50.0	0	17	83	▲41.7
製 造 業		38	19	44	▲ 3.2	29	15	56	▲13.5	21	27	52	▲15.4
建 設 業		33	33	33	0.0	44	11	44	0.0	22	33	44	▲11.1
卸 売 業		20	27	53	▲16.7	12	41	47	▲17.7	12	47	41	▲14.7
小 売 業		56	11	33	11.2	42	25	33	4.2	33	25	42	▲ 4.2
運 輸 業		0	20	80	▲40.0	67	0	33	16.7	50	33	17	16.7
旅 館 ・ ホ テ ル		33	17	50	▲ 8.4	20	0	80	▲30.0	0	0	100	▲50.0
非 製 造 業		30	23	47	▲ 8.5	33	22	45	▲ 6.1	22	33	45	▲11.3

表-5 業種別 販売価格 B S I

業種	期 判断	23年10~12月実績				24年1~3月実績				24年4~6月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$
全 産 業		10	65	25	▲ 7.3	7	65	28	▲10.8	7	66	28	▲10.3
食 料 品		29	71	0	14.3	0	90	10	▲ 5.0	0	100	0	0.0
織 維 ・ 縫 製		0	0	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木 材 ・ 木 製 品		0	50	50	▲25.0	0	0	100	▲50.0	0	100	0	0.0
紙 ・ 紙 加 工 品		0	100	0	0.0	20	60	20	0.0	40	40	20	10.0
窯 業 ・ 土 石		0	83	17	▲ 8.4	17	83	0	8.4	17	83	0	8.4
金 属 ・ 機 械		8	58	33	▲12.5	0	50	50	▲25.0	0	42	58	▲29.2
電 気 機 械		0	70	30	▲15.0	0	60	40	▲20.0	0	40	60	▲30.0
印 刷 ・ そ の 他		13	38	50	▲18.8	0	17	83	▲41.7	0	33	67	▲33.4
製 造 業		8	65	27	▲ 9.4	4	62	35	▲15.4	6	60	35	▲14.4
建 設 業		0	86	14	▲ 7.2	11	33	56	▲22.3	11	45	44	▲16.7
卸 売 業		21	57	21	0.0	22	56	22	0.0	17	67	17	0.0
小 売 業		11	33	56	▲22.3	0	82	18	▲ 9.1	0	73	27	▲13.7
運 輸 業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅 館 ・ ホ テ ル		17	83	0	8.4	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
非 製 造 業		12	66	22	▲ 4.9	10	68	22	▲ 6.0	8	72	20	▲ 6.0

表-6 業種別 仕入価格 BSI

業種	期 判断	23年10~12月実績				24年1~3月実績				24年4~6月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	BSI $\frac{A-C}{2}$	A 上昇	B 不変	C 低下	BSI $\frac{A-C}{2}$	A 上昇	B 不変	C 低下	BSI $\frac{A-C}{2}$
全産業		34	61	4	15.0	35	59	6	14.7	29	60	11	9.3
製造業	食料品	43	57	0	21.5	60	40	0	30.0	60	20	20	20.0
	繊維・縫製	0	0	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	木材・木製品	0	100	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
	紙・紙加工品	67	33	0	33.4	60	40	0	30.0	60	40	0	30.0
	窯業・土石	17	83	0	8.4	33	67	0	16.7	33	67	0	16.7
	金属・機械	50	42	8	20.9	33	50	17	8.3	25	42	33	▲ 4.2
	電気機械	20	80	0	10.0	10	70	20	▲ 5.0	10	70	20	▲ 5.0
	印刷・その他	50	50	0	25.0	67	33	0	33.4	67	33	0	33.4
製造業		38	60	2	17.7	39	53	8	15.7	37	47	16	10.8
非製造業	建設業	0	100	0	0.0	56	44	0	27.8	33	67	0	16.7
	卸売業	47	47	7	20.0	33	56	11	11.1	28	61	11	8.4
	小売業	0	89	11	▲ 5.6	0	100	0	0.0	0	92	8	▲ 4.2
	運輸業	60	20	20	20.0	67	33	0	33.4	50	50	0	25.0
	旅館・ホテル	50	50	0	25.0	17	83	0	8.4	0	100	0	0.0
非製造業		31	62	7	12.0	31	65	4	13.8	22	73	6	7.9

表-7 経営上の問題点 (上位項目)

(単位：%)

	問題点	19年		20年				21年				22年				23年				24年	
		Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予想
製造業	1 売上・受注の減少	37	35	39	34	43	68	70	71	61	58	56	44	48	45	42	64	65	43	60	50
	2 販売価格の低下	17	24	11	21	7	11	22	15	16	24	20	22	30	20	19	14	14	22	29	27
	3 仕入価格の上昇	50	55	66	60	68	32	17	12	12	10	11	18	11	20	19	22	22	24	23	19
	4 過当競争	17	8	7	8	13	9	11	8	25	8	20	18	18	16	15	22	22	18	23	23
	5 先行き見通し難	23	20	11	25	23	48	50	56	44	45	38	51	32	37	34	32	33	27	19	31
	6 諸経費の増加	21	20	14	26	16	4	4	5	12	10	9	16	11	12	11	12	12	16	13	13
	7 人件費の増加	8	10	4	4	9	5	2	3	7	6	5	7	16	6	6	6	6	6	8	10
	8 為替相場の変動	6	4	5	2	5	2	2	3	4	8	4	7	5	10	9	8	8	10	6	8
非製造業	1 売上・受注の減少	60	55	49	55	50	73	70	63	71	72	54	59	57	56	52	56	61	63	50	59
	2 先行き見通し難	18	16	22	16	17	39	30	37	36	36	13	35	26	33	31	33	15	29	31	29
	3 販売価格の低下	22	18	12	14	6	20	23	29	24	38	33	17	17	13	12	14	3	15	27	18
	4 過当競争	28	18	27	22	35	27	36	42	2	26	26	37	36	33	31	25	24	35	23	29
	4 仕入価格の上昇	32	39	37	53	42	16	9	6	4	0	11	4	12	10	10	22	12	15	19	18
	6 人件費の増加	0	4	2	2	4	2	0	6	13	4	9	11	5	5	5	11	15	8	10	4
	7 資金繰り難	10	16	16	8	15	14	16	2	11	12	7	0	7	10	10	14	9	10	6	14
	8 金利負担の増加	7	6	4	6	6	2	7	2	0	0	0	0	5	0	0	3	36	4	0	0

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

相談ジャーナル

鳥取銀行では毎週火曜日（倉吉中央支店）、水曜日（米子ローンプラザ）、木曜日（くらしと経営相談所）にて、税理士による無料税務相談を開催しています。お客様の個別・具体的な税金のお悩みに対して親切、丁寧に対応させていただきます。

※開催日につきましては、担当税理士の都合により変更される場合がございますので、事前に最寄の鳥取銀行の窓口までお問合せ下さい。

相談事例① ～Q & A～

新設法人の届出関係について

Q

新設法人の届出関係

- ①源泉所得税の納期特例の届出書を提出する時期と納付時期はいつですか？
- ②設立届に添付する「開始貸借対照表」の様式はどのようなものでしょう？
- ③請負契約書に貼付する印紙の金額はいくらになりますか？

A

- ①従業員10人未満の法人であれば毎月の納付の原則が、1月と7月の年2回の納付にすることができます。
最初の給与支払い月までに提出することが必要となります。
- ②様式はどのようなものでもかまいませんが、設立日、法人名、貸借科目と金額を記載しなければなりません。
- ③請負契約書は1万円以上100万円以下であれば印紙は200円になります。2部作成するのであれば2部とも印紙が必要になります。

※詳細については税務署でお尋ねください。

～相談ジャーナル24.6～

鳥取銀行では『税務相談室』のほかにもさまざまなサービスを行っています。
例月発行しています『経済動向』でも掲載しましたが、当行の地域ビジネス推進室をご紹介します。お客様のお役に立つことを目的として各種相談会、セミナーの開催を始め様々な業務内容により専門的なご提案・ご支援を行っております。
関心がおありの方は、是非お問合せ下さい。

鳥取銀行 地域ビジネス推進室のご紹介



鳥取銀行地域ビジネス推進室は、地域金融機関として"ビジネスマッチング"や"事業承継"、"M&A"など多様化したお客様のニーズにお応えすべく、今まで以上に踏み込んだより専門的なご提案・ご支援を行うことを目的として設立されました。地元経済発展の為、積極的に業務に取り組んでおります。



地域ビジネス推進室 業務内容

ビジネスマッチングによるお取引先のご紹介

- 商談会の開催やお取引先同士の引き合わせなどネットワークを活用してお客様のニーズに対応します。

事業承継・M&Aに関するサポート

- お客様の抱える問題を把握し、対策の検討とご提案および外部専門機関との連携を行います。また、業容拡大や事業承継の為にM&Aについてもアドバイザー業務を行います。

医療・介護・福祉関連のビジネスサポート

- 専門的な知識や情報が必要である医療・介護・福祉分野に対して、当室専任者が幅広くサポートします。

産学官金連携による地域活性化のお手伝い

- 産学官金連携による共同研究や、企業誘致のご支援、鳥取県 J-VER コーディネート業務など、地域産業の活性化に貢献します。

各種経営情報のご提供

- セミナーの企画・開催や各種コンサルタントのご紹介によりお客様のニーズに対応します。

アグリビジネスに関するサポート

- ビジネスモデル構築から販路開拓まで当室担当者が総合的にサポートします。

海外事業展開への情報提供

- 日本貿易振興機構 (JETRO) 等の外部機関との連携により、お取引先の海外展開をサポートします。

商談会・セミナーの開催実績

平成23年

4月

・商談力強化セミナー(米子市)

【共催】米子商工会議所
【講師】株式会社アルマ経営研究所
経営コンサルタント 高橋志織氏

6月

・とりぎん事業承継セミナー(鳥取市・米子市)

【共催】中小機構中国支部
【講師】中小機構中国支部
事業承継コーディネーター 金原光広氏
株式会社日本M&Aセンター
執行役員 統括事業本部 金融法人部長 安丸良広氏

・とりぎん食品商談会(米子市)

【共催】鳥取県、鳥取県産業振興機構
日本政策金融公庫鳥取支店農林水産事業
【参加パイヤー】株式会社大近(大阪府)、株式会社トップ(東京都)
株式会社ハロース(広島県)

8月

・山陰海岸ジオパーク観光PR事業 「山陰海岸ジオパークの絵を描こう！」

【共催】但馬銀行

11月

・地方銀行フードセレクション2011 (東京ビッグサイト)

地方銀行37行が主催の食品展示商談会。
全国の食品関連事業者612社が出展し、2日間でのべ1万人が来場。



地方銀行フードセレクション2011の様子

12月

・とりぎん医療経営セミナー(岡山市・津山市)

【共催】岡山県保険医協会
【講師】株式会社川原経営総合センター
病院コンサルティング部 参与 岩田常昭氏

平成24年

2月

・とっとり経営戦略スクール(鳥取市・米子市)

【共催】鳥取県
【講師】株式会社タナベ経営
ネットワーク本部 副本部長 三浦保夫氏
ネットワーク本部 部長 田中一司氏

連絡先

〒680-8686 鳥取市永楽温泉町171番地 株式会社 鳥取銀行 ふるさと振興部 地域ビジネス推進室

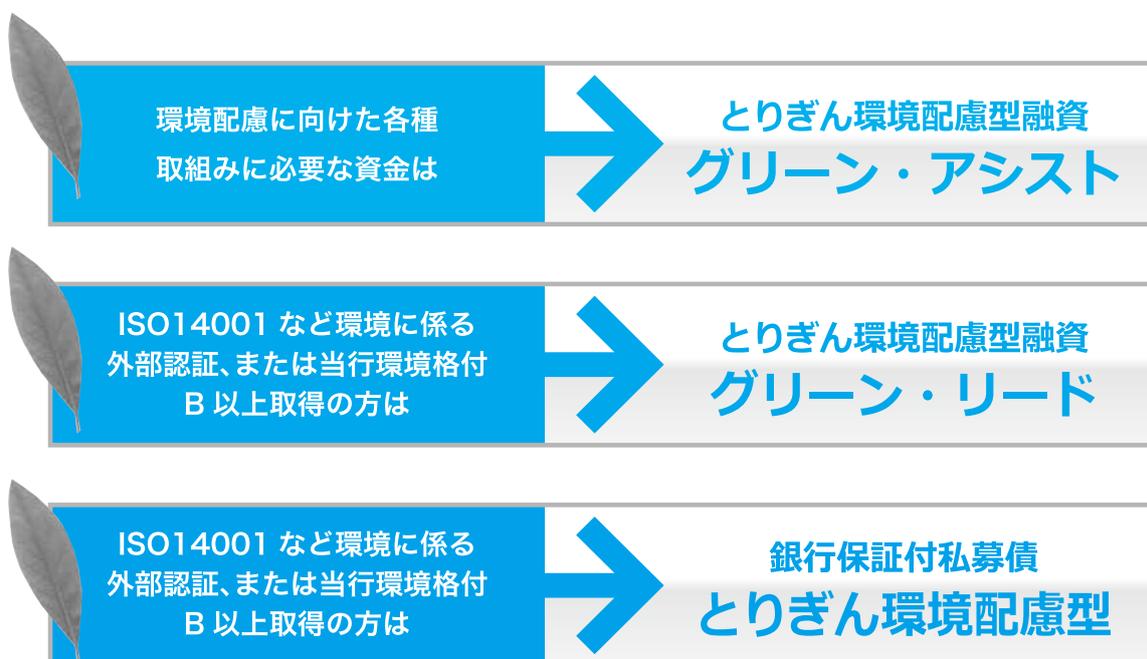
TEL 0857-37-0274

FAX 0857-37-0222

「環境配慮型経営」
「環境保全に向けた取組み」を
実践される事業者の皆さまへ

とりぎん環境配慮型融資・私募債 ラインナップ

3つのラインナップから貴社に最適な融資商品・私募債をお選びいただけます



上記商品は、各種条件・審査等がございます。

詳しくはお近くのとりぎん窓口、または下記ビジネスプラザまでお問い合わせください。

ビジネスプラザ鳥取

(産業会館支店)

TEL.0857-27-1431

鳥取市本町3-201 鳥取産業会館鳥取商工会議所ビル1階
【営業時間】平日9:00~17:00

ビジネスプラザ米子

(米子商工会議所会館出張所)

TEL.0859-31-7700

米子市加茂町2-204 米子商工会議所会館1階
【営業時間】平日9:00~17:00

TOTTORI BANK  青い鳥の銀行です。
鳥取銀行
<http://www.tottoribank.co.jp>

平成24年6月25日現在

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所

☎680-8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857-37-0220

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています